

2020年4月の市場動向、外食・中食売上は42%減

外食売上は71%減で大打撃

<外食・中食 調査レポート>

2020年6月4日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区、トーマス・リンチ代表）は、外食・中食市場2020年4月の動向分析レポートを2020年6月4日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。コロナウィルス感染拡大の影響を大きく受けた2020年4月の外食・中食市場は、売上が41.9%減少しました。外食売上は71.2%減少しました。業態別の売上は、ファストフード+セルフカフェのテイクアウト・出前が45%増で大躍進。食機会別では、昼食の食機会数が最も減少しました。

外食・中食市場の2020年4月は、売上41.9%減

外食・中食市場全体の2020年4月の前年同月比（図表1）をみると、売上（金額市場規模）が41.9%減少、客数（食機会数）が26.5%減少しました。内訳として、外食（購入場所で喫食。コンビニやスーパーなどのイートイン含む）売上は71.2%減少、客数（食機会数）は64.0%減少しました。

<図表1> 外食・中食市場 成長率
2020年4月計 vs. 2019年4月計 %



*購入場所で喫食。軽減税率適用外。

*購入場所以外で喫食。軽減税率適

出典：エヌピーディー・ジャパン(株)CREST®より

ファストフード+セルフカフェのテイクアウト・出前が45%増加

業態別の4月の売上前年同月比をみると（図表2）、ファストフード+セルフカフェのテイクアウト・出前計が45%増と大幅に増加した一方で、居酒屋+バーのイートインは88%減、その他フルサービスレストランのイートインは74%減と大きく落ち込みました。



昼食は31%減で最も食機会数が減少

食機会別の食機会数シェアの変化と前年同月比をみると（図表3）、もっとも食機会数が減少したのは昼食（約3.1億回減）で、前年同期比は31%減でした。夕食が次に減少が大きく（約1.9億回減）で、同36%減でした。



エヌピーディー・ジャパン フードサービスシニアアナリストである、東さやか（あずま・さやか）は、次のように話します。「外食市場において、4月の緊急事態宣言後～ゴールデンウィークがコロナ

ウイルス感染拡大の影響を最も受けたピーク期であり、5月の連休後は、“再スタート”の時期となります。今後は、“回復”期に向かいますが、With コロナの新しい日常のニーズに応えることが重要となります。With コロナの新しい生活様式に合わせた、長期戦をみすえたサービスが増加を続けると考えられ、テイクアウトやデリバリーは、今後も伸びが継続と予想されます。」

Covid-19のビジネスフェーズ（日本）

NPDは、消費者と小売業者が以下のフェーズをたどると予測。ピークは4月の緊急事態宣言後～ゴールデンウィークで、今後は再スタート、回復期となる。With コロナの新しい日常のニーズに応えることが重要。



*1 CREST®

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま） さやか

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL : 03-5798-7663

FAX : 03-5798-7665

Email : npdjapan.info@npd.com

■会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 4月 31日

所在地 〒108-0074 東京都 港区高輪 3-23-17品川センタービル8F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 トーマス・リンチ

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

